
Autodesk Flame AJA Kona 4 output issue with driver 12.5.5 & 12.5.7

現象

VTR 収録時に、イメージがズレて収録されてしまうことがある。

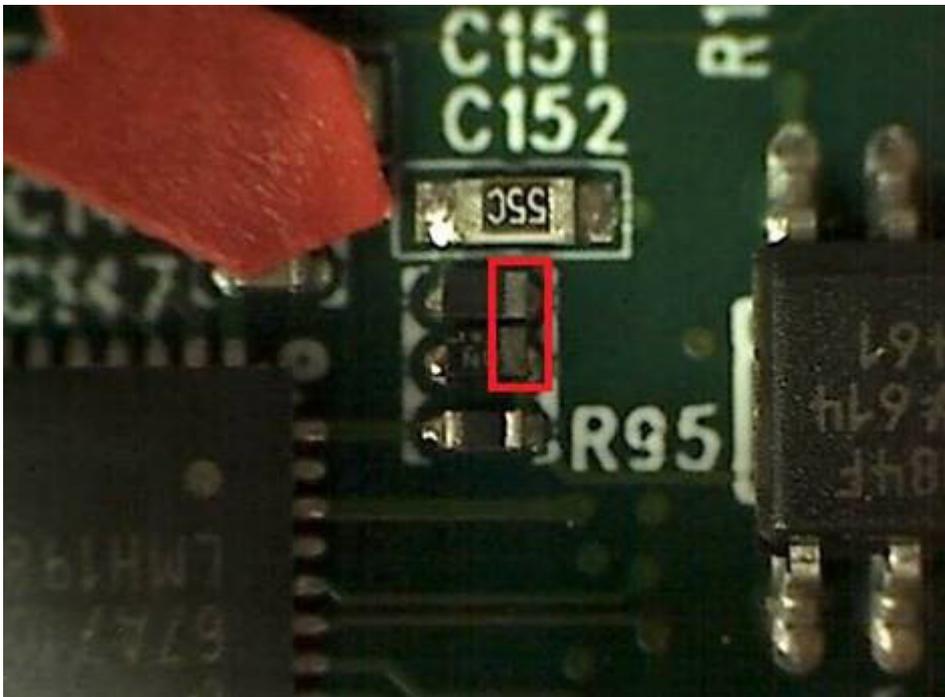
原因

発生原因

2018/3 AJA より報告があり Kona4 のシリアル番号が T94614 以下かつ、チップ C151 と C152 が極性表示 (polarity marking) されていないボードで問題が発生する可能性があることが判明致しました。

以下は問題が解消されている極性表示 (polarity marking) されているチップです、このイメージ以外のチップでは現象が発生する可能性があります。

場所は 4 つのステータス LED の下あたりに配置されています。



発生が報告されているシステム

- Z820 + CentOS7.2 + Kona4 の組み合わせ、かつ AJA のドライバ、ファームウェアに依存します。
- バージョンには依存しません。



対応

AJA Kona4 の RMA 交換対応。

弊社ユーザー様へはシリアル / チップ確認後、問題がありましたらご連絡いたします。

【参考】 以前までの暫定対応

現在 2 通りの回避措置があります。

- ファームウェア、AJA Kona4 のスロット位置変更
- コンフィグ設定の変更

ここではコンフィグ設定の変更対応について記載します。

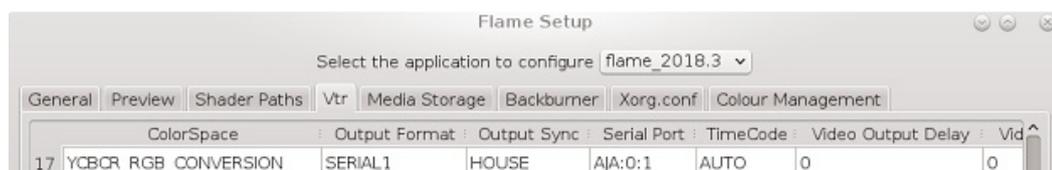
【参考】 コンフィグ設定の変更による回避措置

Shell で行う場合

1. アプリケーションを終了し、root 権限でログインします。
2. 以下のファイルを vi エディタなどで開きます。
`/opt/Autodesk/アプリケーションバージョン /cfg/init.cfg`
3. VTR 収録に使用するコンフィグの Output Sync のカラムを [HOUSE] から [STANDALONE] に変更します。
例)
変更前
`Vtr sony, HDCAM5994i, SERIAL1, 1920x1080_5994i, YCBCR_RGB_CONVERSION, SERIAL1, HOUSE, AJA:0:1, AUTO, 0, 0, 5.00, 1.00, 0.00, 0.00, 10, vtrcueing`
変更後
`Vtr sony, HDCAM5994i, SERIAL1, 1920x1080_5994i, YCBCR_RGB_CONVERSION, SERIAL1, STANDALONE, AJA:0:1, AUTO, 0, 0, 5.00, 1.00, 0.00, 0.00, 10, vtrcueing`
4. ファイルを終了します。
*この設定はアプリケーションバージョン毎に行います。

GUI で行う場合

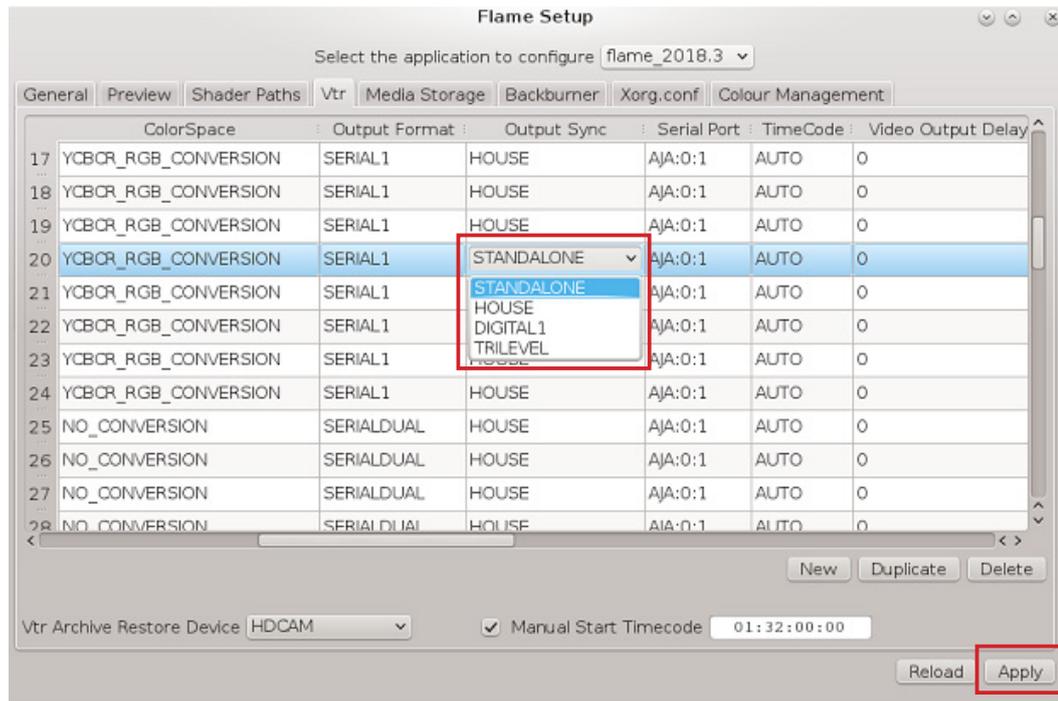
1. アプリケーションを終了し Flame Setup を立ち上げます。
2. 使用するアプリケーションのバージョンに [Select the application to configure] を設定します。



*この設定はアプリケーションバージョン毎に行います。

3. VTR タブをクリックし、VTR 収録をするデッキを選択します。

4. Output Sync を [HOUSE] から [STANDALONE] に変更します。



5. Apply をクリックし Flame Setup を終了します。

VTR デッキの設定

- VTR デッキのシンク設定を [Auto] もしくは [Input] に変更する。

